

じんじん

(題字・あべ弘士)

秦野編

応援団 NEWS

2016. 8. 9 発行

祝・クランクアップ Vol.7

発行／応援団事務局・一般社団法人 秦野市観光協会 ☎ 0463-82-8833

絵本の里・剣淵町で、感動のクランクアップ!!



クランクアップを迎え、ガッチリ握手の大地さんと山田監督

『じんじん秦野編』(仮題)ロケ隊一行は、7月28日に剣淵町入り。早速、天の川農園をはじめ絵本の館などをロケハン。夕方には町役場を訪問し、秦野市内でのロケ終了報告と、剣淵町でのロケ協力の挨拶を行いました。

翌29日は朝から雨。絵本の館で銀三郎が子どもたちに読み聞かせをするシーンの撮影で、剣淵保育所の園児31人がお母さんたちとエキストラ出演。

本番前から大地さんは、子どもたちとコミュニケーションをとり、緊張感をほぐしていた事もあり、30分ほどの撮影でしたが大きな笑いが起こり、園児たちの素敵

な笑顔が印象的でした。午後からは、天の川農園での撮影。佐藤B作さん、中井貴恵さんが4年ぶりとなる高峰夫妻役として、息の合ったところを見せていました。

降り続く雨。そして、本番!

午後3時。降り続く雨の中、ラストシーンの眺望の丘近くに移動して待機。1時間ほど天候の回復を待ち、助監督の「準備!」の声に、スタッフは雨具からしたたる雨粒を振り払い、スタンバイ。西の空が明るくなり、それまでの雨が嘘のように上がった。

カメラ位置の確認、照明の調整を終えて、山田監督の「本番! ヨーイ、ハイ!!」の声が、剣淵の空に響き渡りました。



高峰庄太役の佐藤B作さん



高峰聡子役の中井貴恵さん

2016年7月29日午後4時30分。「カット!」……「O.K!!」。奇跡的に止んだ雨に、ラストカットを撮り終えた瞬間、スタッフ、キャスト、町民ボランティア全員から大きな拍手が沸き起こりました。こうして『じんじん 秦野編』(仮題)は、全ての撮影を終え、この日感動のクランクアップを迎えました。

「おかえりなさい!」とあたたかな歓迎!!

この日、ロケ隊をねぎらう歓迎会が、剣淵映画『じんじん』を成功させる実行委員会の主催で開催されました。食卓の炊き出しで、今回も剣淵町産野菜たっぷりの昼食を出して下さった「ひまわり会」の皆さん。実行委員会の皆様、絵本の館のスタッフの方々。皆様、4年前と変わらずとてもあたたかで、やさしさあふれる剣淵ロケでした。

剣淵町の皆様、ありがとうございました。

(右) 温かな歓迎に顔をほころぼせる大地さん



(左) 新鮮野菜などの食材で炊き出し。ひまわり会の皆さん。

